

# 郷音

ひびき

## 東京福社会だより 第100号

通刊123号  
令和6年5月発行

「響」とは「郷」の「音」と書きます。  
私ども東京福社会では、この温かなものを大切に  
「心に響く葬儀」を目指しております。

今号のエッセイ

十人十色  
【じゅうにんという】

悲しくても笑えた理由

女優・タレント

榎原郁恵さん



東京福社会 だより「響」100号までの歩み  
人形・ぬいぐるみ供養のご報告 春季彼岸会のご報告  
「わ」の会について 東京福社会からのお知らせ



東京上空と富士山

おかげさまで創立100周年～さらに前へ



東京福社会だより（響）は、個人・団体会友や当会をご利用いただいた皆様をはじめ、都内の各福祉事務所・施設などにお届けしております。

## 東京福社会からの「お知らせ」

### 江古田斎場 聖恩山霊園 定休日制定のお知らせ

江古田斎場 聖恩山霊園は創設以来、年中無休で運営をしてまいりましたが、**令和6年4月より定休日**を設けることといたしました。

お預け主様はじめ、ご関係者の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



定休日：原則 **毎週水曜日（平日・祝日問わず）**  
令和6年4月第1週水曜日より実施しております。  
※年末年始・イベント（彼岸会）等は除く

#### 休止業務：

- 電話による受付業務  
（ご相談・法事予約・お塔婆申込 等）
- 管理事務所での業務  
（ご相談・保管料支払い・ご遺骨預け入れ・お返し 等）
- 法事業務
- 納骨堂内参詣（お線香・ご供花の販売も休止）

※なお急なお問い合わせは、葬儀受付フリーダイヤル  
0120-62-1192 で申し受けます。

お問い合わせ先：聖恩山霊園 納骨堂管理事務所  
電話 03-3530-8091

#### 能登半島地震により被災された方々への支援について

東京福社会では能登半島地震により被災された方々の救済および被災地復興の支援として当法人から100,000円また役員にて募金を行い、中央共同募金会を通じ「義援金」として合計286,027円送金いたしました。被災された皆さまならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

#### 資料請求

ご葬儀に関する詳しい資料（料金、式場等）をご用意しています。  
下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。



- ①会友制度お申し込み書一式
- ②葬祭のご案内
- ③ご火葬のみプランのご案内
- ④道灌山会館のご案内
- ⑤江古田斎場のご案内
- ⑥ホール多摩国立のご案内
- ⑦聖恩山霊園のご案内
- ⑧葬儀のあとの手続き・届け出事典

お問合せ・お申し込み 東京福社会 渉外部

電話 | 0120-00-5677 ※9:00～17:00（土日を除く）  
E-mail | info@fukushikai.com  
URL | https://www.fukushikai.com

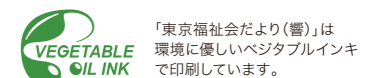
東京福社会 検索



※お急ぎの方はお手数ですが ☎0120-62-1192まで  
ご連絡をお願いいたします。

響では読者の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

東京福社会だより「響」  
第100号（通刊123号）令和6年5月発行  
発行所 社会福祉法人 東京福社会  
〒113-0022  
東京都文京区千駄木3-52-1  
電話 03（3823）8026



「東京福社会だより（響）」は環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

# 榎原郁恵

女優・タレント



©ホリプロ

## 悲しくても 笑えた理由

### 今だからわかる偉大さ

主人の渡辺徹が2022年11月に旅立ってから一年半近くが過ぎました。いろんな方から「落ち着きましたか?」とお声がけいただくのですが、どう答えるのが正解なのかわからない自分がいます。「落ち着くってどういうこと?」と考えてしまうのです。とりあえず言葉では「落ち着きましたよ」と言ってみるものの、心の中では「何も変わっていないんだけど」と思ったりするわけです。主人がいなくなっても一日は始まり終わり、また朝は来る。ただ、家族の中心人物がいなくなっ

てしまったことで、前を向ける日もあれば、後を振り向きすぎてしまう日もあるというのが正直なところです。

家族として共に暮らしていたときは、好きで結婚したにもかかわらず「嫌だなあ」と思う部分もありました(お互いさまでしょうけれど笑)。また、主人は19年近くにわたりNHKの『地球ドラマチック』という番組でナレーションをさせていただったので、いろんな方から「あたたかみのある優しい声ですよ」といったお褒めの言葉を数多くいただいたのですが、それも「そうかしら?」と思ったり笑。ただ、新しい舞台やドラマのオフアワーが来ると「その

役をどう演じれば、より深みが出るのか?」といった研究や努力を惜しまない表現者でもあったので、俳優・渡辺徹のことは常に尊敬していました。

長男の裕太いわく、お仕事で関わる多くの方から「お父さんにはとてもお世話になりました」とか「文学座の公演ではよくうちに来てくださってね」といった声と共に感謝されることが多々あるとのこと。そうした皆さんのおかげで、渡辺徹が人にもどう寄り合い、人にもどう接してきたかがあらためてわかり、主人には本当に申し訳ないけれど、今になって「渡辺徹」という一人の人間の偉大さを感じています。

### 記憶の中で生き続ける

家族葬の後、私と裕太で会見をさせていただいた際、自然と笑みがこぼれる瞬間がありました。しばらくしてから何人かの方に「どうして、あんなふうになんか自然な会見ができたのか」と問われ、その理由を私も考えました。単に現実を受け止められていなかった可能性もあります。ただ一つ確かなことは、私たち家族にとって大切な渡辺徹という人の存在を消したくなかったということ。だから、あの時、たくさんのメディアが彼のことを話題にしてくださったことを、私はありがたいと感じ、悲しみの中にあっても笑みがこぼれるような会見になったのかもしれない。私の父は私が20代の時に心臓病で急逝しました。亡くなる前日まで会社員としてバリバリ働いていたので余計にショックでした。けれど、父がいなくなっても何事もなかったかのように父が勤めていた会社は存続していくわけです。それを目の当たりにしたときに「人間の人生って何なの?」と虚しさでいっぱいになりました。その経験があったから余計に、渡辺徹にはたくさんの方の記憶の中で生

き続けてほしいとの思いが強いのだと思います。

主人の旅立ちから4か月後、「お別れの会」が行われました。こみあげてくるものがある一方で、渡辺徹を知る大勢の人たちが一堂に会し、私が知らない主人のことを話してくださることが本当にうれしかった。悲しいはずなのに、思わず笑ってしまうような場面が幾度となくあったのは、主人の人

柄によるものなのだろうなと思うと、それもまたうれしくて。そして「主人はこれからもこんなにも多くの皆さんの中で生き続けていくんだな」と実感することができ、とてもあたたかい気持ちになった。「お別れの会」でした。

### 自分の「死」に思うこと

その日のことを思うと心が痛いです。それでもやはり、残された人間が、穏やかな心で前を向いて歩き出すためにも、備えられることは備えておこうと思います。

### 65歳からの生き方

気がつけば5月で65歳。なんと私もついに年金受給者です!笑。この年齢になってつくづく思うのは、健康って大事なこと。

健康であるための努力が必要だになってことです。ふと「もう年だし、ゆつくりしたいな」って思ったりもします。でも、私の周りでは素敵に年を重ねている皆さんは、新しいことにも前向きに挑戦し、周囲の出来事に関心を持って、周

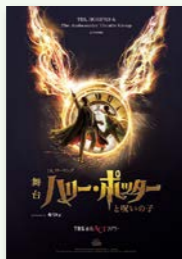
囲の人の声にきちんと耳を傾けていらっしやいます。自分の内側から生まれてくるものと、自分の外側をつなげると、心も体も健やかになれるのかな?と思いはじめたところです。今までは、自分の外側にいつも主人がいて「一緒に買い物に行こうか」なんて言うって出かけることができていたけれど、これからは少し、自分発信で人と交流していきたいと考えています。かと言って、急に自分を変えることはできませんから「あの人、元気にされているかな?」と思ったら、それを思ったままにはせずにお電話して「今度お食事に行きましようよ」って自分から誘ってみるとか、そんなことから始めてみたいと思っています。



が死ぬことへの恐怖は無いに等しいけれど、自分以外の人の「死」になると、まったく違った気持ちになります。私の母や主人のお父さんには、いつまでも元気でいてほしいというのが本音です。誰だってそうでしょうけれど、好きな人の「死」はやはり怖いし、考えたくないものです。我が家には17歳になる愛犬がいて、やはり家族の一員なので、いつか訪れる

### 『ハリー・ポッターと呪いの子』

2022年夏に開幕し、今年7月にはロングラン3年目を迎える舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』現在2024年10月までのチケットが好評販売中。榎原郁恵さんはマクゴナガル校長役として出演しています。舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』



期間：ロングラン上演中  
会場：TBS赤坂ACTシアター  
上映時間：約3時間40分  
(休憩あり)

©TBS/ホリプロ

### 榎原郁恵 (さかきばら・いくえ)

女優・タレント。1959年5月8日生まれ、神奈川県出身。1976年、『第1回ホリプロタレントスカウトキャラバン』でグランプリを獲得。1977年、歌手デビュー。1986年、シングル「夏のお嬢さん」が大ヒット。ドラマ『ナッキーはつむじ風』(1978年)では主演を務める。以降、ドラマ、映画、舞台、CMなどに多数出演。ミュージカル『ピーター・パン』では1981年の初演から7年にわたり初代ピーター・パンを務める。その他、歌番組や料理番組などの司会を務めるなど幅広く活躍。1987年、俳優の渡辺徹と結婚。長男は俳優の渡辺裕太。現在は舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』に出演しながら、ニッポン放送「榎原郁恵のハッピーダイアリー」、エフ横「虫の知らせ」BSフジ「虫の知らせ」、テレ朝「ニッポンめしあがれ」にレギュラー出演中。

表紙で振り返る

# 東京福祉会だより「郷音」

# 100号までの歩み



平成19年  
東京福祉会だより「響」

第47号



平成3年  
東京福祉会だより

第1号 第23号

平成



昭和58年  
梅檀

第1号

昭和

昭和58年7月に「社会福祉法人 助葬会」の広報誌として創刊されました「梅檀」。  
そこから8年後、「社会福祉法人 助葬会」から「社会福祉法人 東京福祉会」へと改称し、それにあわせて広報誌の名称も「梅檀」から「東京福祉会だより」へと改称しました。  
そして、「東京福祉会だより」第1号創刊から33年が経過し、今月号で100号を迎えました。  
この間、その時代の葬儀事情や経済状況、東京福祉会の主な催しやご報告等様々な話題を掲載してまいりました。  
今回の記念すべき100号では、過去の広報誌の表紙をピックアップして紹介するとともに、どのように時代に合わせて姿形を変えてきたのか振り返りたいと思います。

広報誌名  
『東京福祉会だより 響』(現在の名称)へと改称。  
今号より現在同様の冊子形式となり、表紙はその季節折々のお花の写真を使用。  
『響』には当会が目指している温かなものを大切にしたいと「心に響く葬儀を」といった気持ちを込めています。



2007  
東京福祉会だより 響  
第47号(通刊第71号)(平成19年3月)

広報誌名  
『東京福祉会だより 響』へ改称

今号よりモノクロからカラーへと変わり、見やすい形へと変化。



1999  
東京福祉会だより  
第24号(通刊第47号)(平成11年3月発行)

広報誌名改称

祝  
第100号

第96号

第94号

第87号

令和

第58号

今年で創立105年となる当会は41年間この広報誌とともに歩みを進めてきました。時代に合わせて世の中やご葬儀の形が変わっていくのと同じように、当会 広報誌も時代に合わせて姿形を変えてきました。これからも皆様のお役に立てるような葬儀の情報や当会の催しを発信し続けてまいります。皆様何卒、今後とも愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

近年の表紙では都内を中心とした観光地や寺院などの名所をイラストで掲載。  
季節に合わせた温かみのある表紙になっています。



2023  
東京福祉会だより 響  
第96号(通刊第119号)(令和5年1月)



2022  
東京福祉会だより 響  
第94号(通刊第117号)(令和4年5月)

東京福祉会だより 響



記念すべき当法人100周年目を迎えた際の表紙。1月発行の今号表紙には、その年の干支「鼠」のイラストで縁起良くスタート!



法人が100周年

2020  
東京福祉会だより 響  
第87号(通刊第110号)(令和2年1月)

表紙は季節のお花の写真から季節に合わせた手描きイラストに変化。  
心温まる家族のイラストやどこか懐かしい風景のイラストが特徴。



表紙がイラストに

2010  
東京福祉会だより 響  
第58号(通刊第81号)(平成22年7月)

# わの会

東京福祉会のグリーンワークの場「わの会」が再開しました!

## 東京福祉会「わの会」とは?

東京福祉会では、喪失体験をされた方々にこれから先、安らぎの人生を送っていただくための一助になることを願って、講師をお招きした講話会や座談会などのグリーンワークの場「わの会」を開催しております。



詳細はこちら



区分	和の時Ⅰ	和の時Ⅱ	話の時
対象者	葬儀を終えて1年以内の方	葬儀を終えて1年以上経過した方	和の時ⅠかⅡのいずれかに参加された方
講話内容	講話会 喪失体験がもたらすもの カウンセラーと宗教者の両面から喪失体験は特別ではないと説く。	講話と座談 講話は毎回異なる 仏教の教えから生きるための方法を説く	グループトーク 参加者が思っていることを口にだし、共感を得る。
講師	三橋 尚伸 先生	三橋 尚伸 先生	ファシリテーター数名 (三橋 尚伸 先生)
参加者数	30～40名	20～30名	20～30名
会場	江古田斎場		



講師

三橋 尚伸 (ミツハシ ショウシン) 先生

・真宗大谷派僧侶、産業カウンセラー・日本カウンセリング学会会員  
・僧侶カウンセラーとして、医療関係者と共に患者会、ホスピスなどの現場に関わり現在に至る。

## 「わの会」のご報告

近年では新型コロナウイルス感染症の影響により開催は見合わせておりました「わの会」ですが、令和6年2月29日(木)江古田斎場に4年振りに開催いたしました。

今回は令和5年4月1日～令和5年12月31日の間でご葬儀をされた方を対象に24名の方々にご参加をいただき、「喪失体験がもたらすもの～葬儀を縁として～」と題して三橋 尚伸 先生にお話をいただきました。

講話中、先生の言葉や周囲の雰囲気を受け、皆様の中のいろんな思い出や気持ちが反芻されたことと思います。

「わの会」を通して、今後生きていくためのお守りのような言葉や気持ちを皆様が受けとめていただくことが出来れば、と私たちは考えています。

今回の「わの会」は、4年振りの開催ということもあり、直近にご葬儀をされた方々を対象とさせていただきます。次回以降はこの4年間でご葬儀された方はもちろんのこと、それ以前にご葬儀をされた方にもご参加いただけるようにいたします。

●詳しくはホームページをご覧ください。



わの会の様子

次回以降の開催時期につきましては、当広報誌「響」やHPにて掲載いたします。  
ご興味のある方は是非お問い合わせください。



令和6年3月6日(水)に江古田斎場において人形・ぬいぐるみ法要を執り行いました。三・四世帯の方からお預かりした人形・ぬいぐるみは、大切にされた愛情や歴史に思いを馳せながら、職員が祭壇にお飾りさせていただきました。今回も換気や消毒等万全の感染症対策を行い、ご希望者のご参列も賜り、ご供養させていただきました。共に過ごされてきた大切な思い出を、皆様それぞれ回想されているのだと拝察いたしました。「ただ捨ててしまうのではなく、供養してあげたい」。そんな皆様の想いと共に人形・ぬいぐるみをご供養することが出来たと、私共も大変嬉しく思っております。東京福祉会では今後も皆様に寄り添った活動に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



ご法要の様子



お預かりしたお人形

## 人形・ぬいぐるみ供養のご報告



ご法要の様子



令和6年3月19日・20日・21日の3日間、江古田斎場において主だった宗旨・宗派別にて春季彼岸会を執り行いました。今回も換気や消毒等万全の感染症対策のもと、皆様と一緒にご供養が出来たことを大変嬉しく思います。皆様のご理解・ご協力が心から感謝申し上げます。

## 春季彼岸会のご報告

